

日本医史学会会報

45号(復刊)

平成21年10月30日

第111回日本医史学会総会の開催にあたって	会-1
学会印象記	会-2
第110回日本医史学会総会	会-4
平成20年度支部・研究会報告	会-17
雑報・寄贈本リスト	会-25

第111回日本医史学会総会の開催にあたって

総会会長 真柳 誠

本年、佐賀で開催されました日本医史学会総会の承諾により、第111回総会会長にご指名いただきましたので、開催の挨拶を申し上げます。

すでに会員各位のお手元には第111回総会・学術大会の第1報が届いていることと存じますが、長い本学会の歴史において水戸で開催されるのは初めてであり、実行委員一同とても緊張しています。やはり初めての試みとして、総会の前日・金曜に日中韓3国医史学会の合同シンポジウムも開催するため、その準備も進めております。

ご存じのように水戸藩は徳川御三家の一つであり、本年は開藩400年にあたります。同時に水戸および茨城県には豊富な医学・医療・行政の歴史があり、かつて矢数医史学賞を受賞された石島弘先生の大著『水戸藩医史』にあますところなく活写されています。九代藩主斉昭が天保12年(1841)に創設した藩校の弘道館は当時、全国最大の規模であり、文館・武館・医学館・天文方が

設けられていました。藩医では原南陽・本間棗軒などが全国に名を馳せました。こうした「水戸藩の学問と医学」を、茨城大学名誉教授の鈴木暎一先生に特別講演でお話いただく予定です。また本会終了翌日の月曜には、偕楽園・弘道館・朱舜水祠堂跡などへの史跡めぐりも計画しています。

ところで例年の会場には、中華医史学会・韓国医史学会・大韓医史学会より祝賀の花籠が設置されています。これは3国学会の交流を象徴するもので、中国と韓国でも同様に日本医史学会から祝賀の花籠が設置されています。しかし実質的な3国学会の交流シンポジウムは、2003年にソウルで開催された「国際東アジア伝統医学史学術大会」が最初で唯一でした。そこで今回この第2回として、日中韓医史学会合同シンポジウムを「漢字文化圏の医史」の統一テーマで企画しました。3国を代表する研究者によるシンポジウムですが、同じ漢字文化圏のベトナムからもシンポジス

ト1名を予定し、中国医学の各国化における共通性を見いだせれば幸いと願っています。

しかし1日の限られた時間で通訳を入れるのは不可能につき、各報告スライドと論文を日中韓の3言語に翻訳することで、参加者のご理解を得たいと思います。またシンポジスト以外の韓国と中国からの参加者は、本学術大会で一般口演していただく予定です。これも時間の節約で、口演は自国語ですがスライドは日本語版を同時放映、抄録は日本語訳を掲載し、質疑応答だけを実行委員が通訳いたします。何かと意志疎通を欠く場面も予想されますが、3国学会の交流を重ねる日本初の試みゆえ、会員各位のご寛容を心からお願い申し上げます。

なおインターネットでは、以下のURLに本総会・学術大会・合同シンポジウムの第1報、および一

般演題申し込み要領と演題申し込み用紙・抄録表紙、またポスターを掲載しております。これらは随時更新し、水戸と会場への交通、宿泊などの情報も掲載する予定ですので、どうぞご利用ください。「第111回日本医史学会総会」で検索すると簡単です。

<http://mayanagi.hum.ibaraki.ac.jp/111JSHM/Jp1stCircular.html>

水戸は初めてという会員が多いことと存じますが、東京からは1時間ほどで到着する風光明媚な歴史と文化の街です。ご存じ黄門さまゆかりの地でもあり、格さん(安積澹泊)の墓は会場から1kmほどです。会員各位が来年6月11日(金)から同13日(日)の3日間、水戸にご来訪されることを実行委員一同、鶴首いたしております。

学会印象記

瀧澤 利行

茨城大学教育学部

山本常朝の『葉隠』を生んだ武士道の町という印象が強い佐賀での第110回日本医史学会総会は、その印象通り、佐賀県民の静かだが情熱を感じる思い出深い学会となった。会期は平成21年6月6日(土)と6月7日(日)で、入梅前のまぎまぎの天候に恵まれた。

まず、会場となった「アバンセ」は非常にきれいな施設で、しかもメイン会場は堂々たるホールであり、日本医史学会の総会としてはきわめて快適な行事・講演が行える空間であった。他の2会場も設備が整った良環境であった。しかし、それにもまして私たち参加者にとって感動とともに驚きもたらされたのは開会式ともいべき主催者及び来賓挨拶であった。前山隆太郎会長、井口潔名誉会長のご挨拶は私たち参加者を佐賀に迎える

ことができたことを喜んでいただいた心温まるものであったが、古川康佐賀県知事のご挨拶をいただいた時には、第110回大会がいかにか佐賀の地を誇りに思い、それを後世に伝えようとしているかの熱意がひしひしと伝わってきた。まだお若い知事の口から、伊東玄村、相良知安、佐野常民といった医学の先哲の名が出る時、型どおりの挨拶ではないこの佐賀の地を真に日本の科学技術、とりわけ近代医学の聖地の一つとして謙虚に世に誇る姿勢を感じたのは筆者のみではないと思う。

学会そのものは、通例の医史学会らしく、日頃の会員の研鑽を披露される時間とそれに満たされながらも学問的探求を疎かにしない厳しい質問や意見が交わされるものであった。誌上発表3題を含む79題が2日の日程の中で滞りなく進められ

た。一般講演の傾向を大まかにいえば、和洋東西でいえば、日本の医史がその題目の大半を占め、そのほとんどが近世(江戸期)から近代初頭(明治期)であり、西洋医史、および中国・韓国などの東洋医史、そして日本の大正期以降の医史に関する演題は少ないと言わざるを得ない。今後の医史学会の研究推進における重点課題としてそれら発表演題の少ない地域や時期を対象とした研究の活性化がもとめられるように感じた。さりながら、大学院生クラスの若い会員の覇気あふれる発表もみられるようになり、これらの発表が順調に展開されて『日本医史学雑誌』に投稿され、掲載されるようになるためにも、そうした研究推進が一層必要となるだろう。

特別講演関係では、前山会長の「幕末から明治期佐賀の指導医たち—好生館お雇い外国人を含めて—」は現在もその名を残す佐賀県立病院好生館での医学伝習とそこでの外国人医師の活躍に光を当てた意義深いものであった。また特別講演Ⅰ「佐賀藩医相良知安とドイツ医学」は佐賀にとどまらず、日本近代医学樹立の立役者ともいうべき相良知安の数奇な人生とその業績を知安の子孫にあたられる相良隆弘先生が熱演された。これは思いのこもったご子孫にかなし得ない価値ある講演であったと思う。2日目の午後には市民公開講座としても開催された特別講演による構成となった。落語家三遊亭竜楽師匠の「落語の中にみる幕

末医療人」、福岡博先生の「先見の人 佐野常民」、実行委員長をも務められた青木歳幸先生の「全国へ広がった佐賀の種痘」といずれも佐賀の近代日本医学における独自の存在証明を印象づける名講演であった。さらに貴重であったことは、会長講演や特別講演で触れられた佐賀県の医史学の足跡がまとまれた『第110回日本医史学会佐賀大会記念 佐賀医史学マップ 幕末・維新先哲の医跡に学ぶ』と題された冊子が佐賀県医学史研究会の手によって編集・発行され、参加者に配付していただいたことであり、これは大きな収穫であった。参加者の一人として改めて誌上を借りてお礼申し上げたい。

1日目の夜は100名以上の参加者による盛大な懇親会が行われた。郷土色豊かな料理と佐賀のお酒に囲まれて、琵琶とヴァイオリンの音色に酔いしれたひとときであった。

今回は明年6月の第111回日本医史学会を水戸にてお引き受けすることになっての参加であったのでそれとなく会場の準備や運営などにもさりげなく目を向けたが、実に行き届いた配慮に満ちた運営を、まさしく「心を砕いて」進めていただいたことがよくわかった。こうした面も『葉隠』の武士道精神が会長はじめ実行委員の皆さんに脈々と受け継がれていることのあらわれであろう。末筆ながら前山会長ほかの実行委員の先生方には重ねて謝意を表したい。

第110回 日本医史学会 総会

去る平成21年6月5日(金)に理事・評議員会, 6日には総会がアバンセで開催されました。下記の報告が承認され, 協議事項は可決されました。

1. 報告事項(平成21年3月31日現在)

(1) 平成20年度庶務報告

1. 会員の動静

入会者 44名

退会者 32名

死亡会員 11名	長与健夫(19年10月13日)	榊原悠紀田郎(20年6月10日)
	酒井 恒(20年8月2日)	大西泰久(20年10月8日)
	矢部一郎(20年10月18日)	石川康悦(20年11月7日)
	児島 愈(20年12月11日)	山本俊一(20年12月13日)
	大塚恭男(21年3月9日)	望月洋子(21年3月22日)
	関修一郎	

都合退会者 21名

現在会員数 895名 正会員 884名(うち学生会員39名, 海外会員30名)

名誉会員 7名

賛助会員 4名

2. 受賞

(2) 平成20年度事業報告

1. 日本医史学雑誌 第54巻第2・3・4号, 第55巻第1号 発行

2. 第109回日本医史学会総会

平成20年6月21日(土)~22日(日) 於・佐倉市民音楽ホール

会長 大沢眞澄

3. 日本医史学会例会

8回開催(9月は神奈川地方会と合同開催・12月は日本薬史学会, 日本獣医史学会, 日本歯科医史学会, 日本看護歴史学会と5学会合同開催)

(3) 平成20年度共催・協賛事業報告

【協賛】

1. 神農祭 平成20年11月23日(日) 於・湯島聖堂

【後援】

1. 日本看護歴史学会第22回学術集会

平成20年8月27日(水)~28日(木) 於・九州大学医学部百年講堂

2. 第16回医療文化史サロン展

平成20年11月1日(土)~3日(月) 於・護王会館

(4) 第21回矢数医史学賞選考委員会報告

坂井建雄『人体観の歴史』岩波書店(2008年9月刊行)

(5) 第15回学術奨励賞選考委員会報告

樋野恵子著「明治初期における医療の一分野としての看護——医師太田雄寧訳纂『看護心得』の原著解明と比較検討——」(日本医史学雑誌第54巻第4号掲載)

(6) 日本医史学会支部・研究会報告(資料A)**(7) その他****2. 協議事項****第1号議案 平成20年度決算報告に関する件(資料1-3)****第2号議案 平成21年度事業計画案に関する件****【主催】**

1. 第110回日本医史学会総会 平成21年6月6日(土)~7日(日) 於・アバンセ(佐賀市)
会長 前山隆太郎

【共催】

1. 日本医史学会12月例会・懇親会(日本薬史学会・日本獣医史学会・日本歯科医史学会・日本看護歴史学会と5学会合同開催) 平成21年12月12日(土) 於・順天堂大学
2. 大塚恭男顕彰会 平成21年5月9日(土)

【協賛】

1. 神農祭 平成21年11月23日(日) 於・湯島聖堂
2. 小野蘭山没後200年記念事業 平成22年11月

【後援】

1. 日本看護歴史学会第23回学術集会 平成21年8月20日(木)~21日(金) 於・聖路加看護大学
2. 第17回医療文化史サロン展 平成21年11月1日(日)~3日(火) 於・護王会館

第3号議案 平成21年度予算案に関する件(資料4)**第4号議案 第111回以降日本医史学会総会会長選出に関する件(資料5)****第111回日本医史学会総会**

平成22年6月11日(金)~13日(日) 於・茨城大学
会長 真柳 誠

第112回日本医史学会総会

平成23年6月11日(土)~12日(日) 於・順天堂大学医学部有山記念講堂
会長 坂井建雄

第5号議案 学会賞選考規定に関する件(資料6)**第6号議案 日本医史学会ホームページ移転に関する件(資料7)****第7号議案 法人化に関する件****3. その他**

資料1

平成20年度 収支決算書

自 平成20年度4月1日

至 平成21年度3月31日

(収入の部)

科 目	予 算	決 算	増 減	備 考
1. 会費収入	8,300,000	8,121,000	△ 179,000	
2. 入会金	100,000	66,000	△ 34,000	
3. 雑誌売上	100,000	177,500	77,500	バックナンバー
4. 著者負担	100,000	28,500	△ 71,500	
5. 広告収入	200,000	67,500	△ 132,500	
6. 集会費	30,000	52,000	22,000	
7. 助成金	1,400,000	1,400,000	0	
8. 寄付金	0	0	0	
9. 利 息	2,000	2,073	73	
10. 雑収入	50,000	28,157	△ 21,843	印税他
小 計	10,282,000	9,942,730	△ 339,270	
前年度繰越金	5,624,392	5,624,392	0	
合 計	15,906,392	15,567,122	△ 339,270	

資料2

平成20年度収支決算書

自 平成20年度4月1日

至 平成21年度3月31日

(支出の部)

科 目	予 算	決 算	増 減	備 考
1. 学会誌等刊行費	4,500,000	3,330,610	△ 1,169,390	
2. 名簿刊行費	700,000	670,510	△ 29,490	
3. 事業費	2,000,000	1,256,726	△ 743,274	
4. 事務費	700,000	250,156	△ 449,844	
5. 印刷費	120,000	209,950	89,950	
6. 備品費	0	0	0	
7. 通信費	300,000	238,020	△ 61,980	
8. 人件費	2,000,000	1,754,550	△ 245,450	
9. 交通費	850,000	709,500	△ 140,500	
10. 渉外費	100,000	103,500	3,500	
11. 会議費	100,000	42,909	△ 57,091	
12. 雑 費	10,000	5,880	△ 4,120	
13. 特別会計へ	0	2,000,000	2,000,000	
14. 予備費	4,526,392	0	△ 4,526,392	
小 計	15,906,392	10,572,311	△ 5,334,081	
次年度繰越金	0	4,994,811	4,994,811	
合 計	15,906,392	15,567,122	△ 339,270	

資料3

資産 (平成21年3月31日現在)

1. 一般会計	4,994,811 (現金 105,610 預金 4,889,201)
2. 特別会計	9,064,278
3. 矢数医史学賞基金	5,166,145
4. 斉藤脩基金(日本医史学会学術奨励賞基金)	1,520,133
計	20,745,367

内 訳

特別会計

支 出		収 入	
次年度への繰越金	9,064,278	前年度より繰越金	7,057,097
		利息	7,181
		一般会計より	2,000,000
合 計	9,064,278	合 計	9,064,278

矢数医史学賞


支 出		収 入	
次年度への繰越金	5,166,145	前年度より繰越金	5,292,153
矢数賞賞金	150,000	利 金	23,992
合 計	5,316,145	合 計	5,316,145

斉藤脩基金

支 出		収 入	
次年度への繰越金	1,520,133	前年度より繰越金	1,500,000
		利 息	20,133
合 計	1,520,133	合 計	1,520,133

会則第18条第3項の規定に従い、平成20年度の財産の状況及び理事の業務執行の状況を監査した結果、収支計算書その他の書類は正確かつ妥当であることを認め、理事の業務執行に不整の点はないと認めます。

平成21年4月30日

監 事 石原 九郎 

監 事 高橋 文雄 

資料4

平成21年度予算表

自 平成21年度4月1日
至 平成22年度3月31日

支出の部	前年度 (H20)予算	本年度 (H21)予算	前年度との比 較	備考	収入の部	前年度 (H20)予算	本年度 (H21)予算	前年度との比 較	備考
1. 学会誌等刊行費	4,500,000	4,500,000	0		1. 会費収入	8,300,000	8,300,000	0	
2. 名簿刊行費	700,000	0	△ 700,000		2. 入会金	100,000	100,000	0	50名
3. 事業費	2,000,000	3,000,000	1,000,000		3. 雑誌売上	100,000	100,000	0	
4. 事務費	700,000	500,000	△ 200,000		4. 著者負担	100,000	50,000	△ 50,000	
5. 印刷費	120,000	200,000	80,000		5. 広告収入	200,000	150,000	△ 50,000	
6. 備品費	0	300,000	300,000		6. 集会費	30,000	30,000	0	
7. 通信費	300,000	300,000	0		7. 助成金	1,400,000	1,300,000	△ 100,000	学術振興会出 版助成金
8. 人件費	2,000,000	2,200,000	200,000	事務・編集	8. 寄付金	0	0	0	
9. 交通費	850,000	850,000	0		9. 利息	2,000	2,000	0	
10. 渉外費	100,000	100,000	0		10. 雑収入	50,000	50,000	0	登録・委託
11. 会議費	100,000	100,000	0		11. 前年度繰越金	5,624,392	4,994,811	△ 629,581	
12. 雑費	10,000	10,000	0						
13. 予備費	4,526,392	3,016,811	△ 1,509,581						
合 計	15,906,392	15,076,811	△ 829,581		合 計	15,906,392	15,076,811	△ 829,581	

資料5(1)

日・中・韓三か国医史学会の連携に関する提議

2004年4月10日

真柳 誠

2003年11月19日に韓国ソウルの慶熙大学にて韓国医史学会・韓医学研究院共催の国際会議「国際東亞細亞傳統醫學史學術大會」が開催され、日本から真柳、中国から中華医学会医史学分会（中華中医薬学会中医薬史分会）の朱建平常任理事（中国中医研究院医史文献研究所教授、『中華医史雑誌』編集委員長）らが参加・発表した。

当大会後に三か国医史学会の今後の連携学術活動についての協議が持たれ、以下の5点について中国・韓国で合意が得られ、日本医史学会も今後の理事評議員会・総会で承認を得た後、積極的に協力したい旨を伝えた。ついでには以下の各点の実施について提議申し上げ、ご協議いただきたい。

1. 各医史学会は各々の学会誌の年度末号に、他学会の学会誌が昨年度に掲載した論文タイトル・著者名等を掲載し、研究の相互理解を促進させる（当件は『日本医史学雑誌』がすでに実施中で、『日本医史学雑誌』の昨年度論文リストは『中華医史雑誌』と『韓国医史学雑誌』に提供済み）。
2. 各医史学会の総会（年会）等行事予定を事前に相互連絡し、各々の学会で会員に通知する。
3. 各医史学会は各々の総会（年会）に他国学会からの祝賀花籠を各自の負担で会場に設置する（当件も三か国ともすでに実施中）。
4. 各医史学会は各々の総会（年会）・各種公開会議に他国医史学会会員が参加・発表を希望する場合、入会を不要とし、自国学会員と同一の参加費用を負担する条件で許可する。
5. 隔年で三か国医史学会の連合学術大会を各国学会の総会（年会）と合同の形式で開催し、第一回は2006年に北京で開催の中華医史学会の年会と合同、第二回は2008年にソウルで開催の韓国医史学会と合同で行う（2010年の第三回は日本での開催が求められている）。

資料5(2)

第111回日本医史学会総会・学術大会および 第2回日中韓医史学会合同シンポジウム(案)

名誉会長	池田幸雄
会長	真柳 誠
実行委員長	瀧澤利行
実行委員	七木田文彦, 高村恵美, 木村 淳, 久保輝幸, 野口大輔, 鈴木千春
協 賛	中華医史学会, 韓国医史学会
後 援	茨城大学, 茨城県教育委員会, 茨城県医師会・歯科医師会・薬剤師会
事務局	第111回日本医史学会事務局 〒310-8512 水戸市文京2-1-1 茨城大学教育学部 瀧澤利行研究室 TEL/FAX: 029-228-8323 E-mail: tt-takizawa@hotmail.co.jp
会 期	平成22(2010)年6月11日(金): 第2回日中韓医史学会合同シンポジウム 同上12日(土)・13日(日): 第111回日本医史学会総会・学術大会・公開講演会
会 場	茨城大学水戸キャンパス(水戸市文京2-1-1)
理事評議員会	平成22年6月11日(金) 17:00~18:30 理学部インタビュースタジオ
通常総会	同上6月12日(土) 11:30~12:30 人文学部10番教室
学術大会	同上6月12日(土)・13日(日) 人文学部10番・15番教室
会長講演	同上6月12日(土) 人文学部15番教室 真柳 誠「日韓越の医学と中国医書」
公開講演会	平成22年6月13日(日) 13:30~15:30 人文学部15番教室 鈴木暎一「水戸藩の学問と医学」 瀧澤利行「現代に生きる健康と医療の伝統」
懇 親 会	平成22年6月12日(土) 18:30~20:00 ホテルテラスザガーデン水戸
史跡めぐり	平成22年6月14日(月) 9:30~ 偕楽園・弘道館・朱舜水祠堂跡ほか
演題締切	平成21年12月25日(金) 1,400~1,600字
中韓参加者	11日の3学会合同シンポジウム演者以外は12日・13日の学術大会で一般口演(自国語と日本語スライドの同時放映, 抄録は自国語)

第2回日中韓医史学会合同シンポジウム(案)*

「越境する伝統、飛翔する文化——漢字文化圏の医史」

* 第1回は2003年11月19日にソウルで開催(韓国医史学会・韓医学研究院の共催)

参加者 日本医史学会(約50名), 中華医史学会・韓国医史学会(各10名), ベトナム(1-2名)
 言語 本国語で報告・コメントし, スライドは日中韓3言語で放映, 質疑応答のみ通訳
 参加費 上記3学会員・学生は無料, 一般参加者は有料(proceedings 実費)
 宿泊 朝食付き一泊5,000円(スーパーホテル水戸)~8,000円(ホテルテラスザガーデン水戸)
 連絡先 〒310-8512 水戸市文京2-1-1 茨城大学人文学部 真柳誠研究室
 TEL/FAX: 029-228-8194 E-mail: makoto@mx.ibaraki.ac.jp

一日程(仮)ー

2010年6月10日(木)

17:00~18:30 登録・茨城大学学長ウェルカムパーティー(茨苑会館)

2010年6月11日(金) 理学部インタビュースタジオ

10:00~10:40 韓国演者「(仮)韓国医学形成の軌跡」

10:40~11:20 韓国演者「(仮)『東医宝鑑』と韓国医学の自立」

11:20~11:40 中国人コメント・意見交換

11:40~13:00 昼食・休憩(学内レストランほか)

13:00~13:40 日本演者「(仮)日本医学形成の軌跡」

13:40~14:20 日本演者「(仮)『啓迪集』と日本医学の自立」

14:20~14:40 中国人コメント・意見交換

14:40~15:00 コーヒーブレイク インタビュースタジオ・ロビー

15:00~15:40 ベトナム演者「(仮)『医宗心領』とベトナム医学の自立」

15:40~16:00 韓国人コメント・意見交換

16:00~16:40 中国演者「(仮)日韓越の飛翔を促した中国医学」

16:40~17:00 コーヒーブレイク インタビュースタジオ・ロビー

*17:00~18:30 日本医史学会理事評議員会 理学部インタビュースタジオ

*18:30~19:00 バス移動

*19:00~20:30 日本医史学会理事評議員懇親会 中川楼(実費)

第111回日本医史学会総会・学術大会（案）

参加者 日本医史学会（約150名）、中華医史学会・韓国医史学会（各10名）、ベトナム（2名）
 会場 茨城大学人文学部講義棟
 言語 抄録・口演は自国語、スライドは日本語（＋自国語）、質疑応答のみ通訳

参加費 8,000円、懇親会費 7,000円、記念写真代 1,000円

一日程（仮）

2010年6月12日（土）

9:30～ 登録（講義棟内）
 9:45～10:00 開会の辞・名誉会長挨拶（講義棟10番教室）
 10:00～11:30 一般口演（講義棟10番・15番教室）
 11:30～12:30 通常総会・記念撮影（講義棟10番教室）
 12:30～13:30 昼食・休憩（学内レストランほか）（日中韓3学会代表会議）
 13:30～14:30 会長講演（講義棟10番教室）
 14:30～17:30 一般口演（講義棟10番・15番教室）
 *17:30～18:30 バス移動
 *18:30～20:00 懇親会（ホテルテラスザガーデン水戸）

2010年6月13日（土）

9:00～ 登録（講義棟内）
 9:30～12:30 一般口演（講義棟10番・15番教室）
 12:30～13:30 昼食・休憩（学内レストランほか）
 13:30～15:30 市民公開講演会（講義棟10番教室）
 15:30～15:35 閉会の辞

*2010年6月14日（月）

9:30～ 水戸周辺史跡めぐり（茨大バスで20名以内、入場料・昼食は実費：偕楽園・弘道館・朱舜水祠堂跡・徳川博物館・西山荘・瑞龍山水戸家墓所など）

資料6

日本医史学会学術奨励賞規定

- 1) 日本医史学会（以下学会という）に、受賞者の医史学研究の発展を期待することを目的とし、「日本医史学会学術奨励賞」（以下奨励賞という）を設立する。
- 2) 奨励賞は『日本医史学雑誌』（以下学会誌という）に掲載された原著論文のうちから、優れた業績にたいして授与するものとする。但し、過去の当賞受賞者はその対象としない。
授賞は各年度に一篇とする。
受賞者には、副賞を贈る。副賞は齊藤脩基金等をもってあてる。
- 3) 受賞者は、学会理事・評議員の投票により選出された第三位までの論文の中から、学会理事会が選任した選考委員会の選考をへて、これを決定する。
- 4) 授賞の対象は、授賞前年の学会誌に掲載された原著論文とする。
- 5) 授賞は、当該年度の学会総会でおこなう。
- 6) 選考委員会の規定は別にこれをさだめる。

付 則

この規定は平成6年5月14日から実施する。

この規定は平成21年6月6日改定。

（改定箇所はアンダーラインで示しました。）

資料7

学協会情報発信サービスの概要と利用申請について

1. サービスの概要

学協会情報発信サービスは、学術研究の発展に資するため国立情報学研究所（NII）が提供するWWW(World Wide Web)サーバ（以下「サーバ」という。）に、学協会等の学術研究情報を収集し、インターネットを通じて広く情報発信するサービスで、利用形態として次の2種類があります（下図参照）。

利用形態

- (1) ホームページ構築サービス
学術研究情報をWWWホームページとしてサーバに構築するもの。
- (2) ホームページリンクサービス
WWWホームページへの中継情報（リンク）であるURL(Uniform Resource Locator)を、本サービスのホームページである「Academic Society Home Village」に登録するもの。

2. 情報発信の手順

利用承認後、以下の手順で情報公開されます。（下図参照）

- (1) ホームページ構築サービス
 - ① データ作成
利用者の端末等でHTMLファイル及びイメージデータを作成します。
 - ② データ転送
利用者からサーバの指定ディレクトリへFTP等によりデータ転送します。
 - ③ リンク登録
ホームページ構築サービスはデータ転送完了の連絡を基に、本研究所が Academic Society Home Village のホームページにリンク登録を行い情報発信します。
- (2) ホームページリンクサービス
 - ① リンク登録
利用申請書に記入されたURLを、本研究所が Academic Society Home Village のホームページにリンク登録を行い情報発信します。

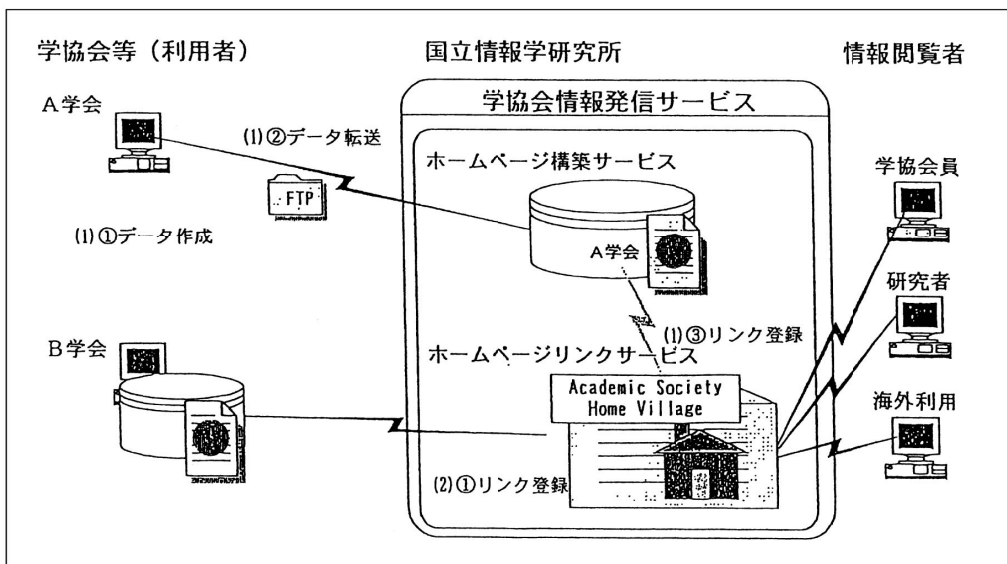


図 利用形態及び情報発信の手順

3. 利用者の範囲

利用者の範囲は、下表に示す非営利目的の学術研究団体等となっています。

区分	利用者の範囲
学協会	学協会 研究者を中心に構成された学術研究の向上発達を目的とした団体で、日本学術会議協力学術研究団体
法人	学術研究法人 民法第34条の規程により学術研究を行う目的で設立された法人又は法律により直接設立された法人で、科学研究費補助金取扱規程において「研究機関」として規定されているもの 研究助成法人 学術研究助成を行う民間の団体や企業等で、(財)助成財団センターの正会員又は特別会員であるもの
その他	所長が適当と認めたもの

4. 手続き等

(1) 利用申請

① 手続き

利用申請書(要職印)を提出してください。

- 利用の申請については承認後、当研究所より利用承認書を発行します。また、ホームページ構築サービスの申請については、利用承認書とともにサーバ利用に必要な諸情報を通知します。

② 添付資料

利用者の確認のため、以下の資料を添付してください。

- 学術研究団体等の会則又は定款及び役員名簿
- 学術研究団体等の活動に関する資料
(例：シンポジウムのレジュメ、学会誌、学協会総会資料等)
- 日本学術会議協力学術研究団体である場合は、それを証明する書類

(2) 届出

① 手続き

利用申請書(要職印)を用いて、申請内容に変更が生じた場合又は利用を中止する場合に届出を行ってください。

- 変更・中止については、承認書の発行を致しませんのでご注意願います。

② 添付資料

届出内容により資料を添付していただく場合があります。

5. 留意事項

利用にあたって、次の事項に留意してください。

(1) 「国立情報学研究所学協会発信サービス利用規程」の第7条(利用に当たっての遵守事項)を遵守してください。

(2) ホームページ構築サービスの利用者は、公開しているコンテンツに対するセキュリティ対策や管理等、サーバの適切な維持管理に努めてください。

(3) サーバのディスクは利用者全体の共有領域となっていることから、ホームページ構築サービスで利用できるディスク容量の上限は1GBまでとします。

6. その他のサービス内容

ホームページ構築サービスでは、以下のサービスを個別に提供しています。

- CGIスクリプト機能利用環境の提供
- ホームページ作成時の技術的なサポート

(資料A)

平成20年度支部・研究会報告

平成20年度 北海道医史学研究会 活動報告

○北海道医史学研究会幹事会 平成20年4月15日 北海道医師会館
議題及び承認事項

1. 合同学術集会について
当会が当番幹事 11月8日午後2時から開催
2. 役員の補充について
幹事に寺沢浩一氏・菊田道彦氏, 監事に古屋統氏を推薦
3. 『北辰』第9号の発行について
平成21年1~2月中に発行

○北海道医史学研究会総会 平成20年11月8日 北海道医師会館
議題及び承認事項

1. 役員の補充について
幹事会の提案通り承認
2. 平成19年度収支決算について
提案通り承認

○第3回医史・薬史合同学術集会 平成20年11月8日 北海道医師会館
〈プログラム〉

開会挨拶 (14:00~14:10)

北海道医史学研究会長 長瀬 清

日本薬史学会北海道支部長 斎藤元護

特別講演 (14:10~15:10) 座長 島田保久 (北海道医史学研究会代表幹事)

「道内における鉄道発展の歴史と現状および今後の課題」

講師 小池明夫 (北海道旅客鉄道株式会社 代表取締役会長)

一般演題 I (15:10~15:50) 座長 片岡是充 (宮の森記念病院)

1. 眼目秘録 (慶長18年) 竹田 眞 (竹田眼科)
2. 関場不二彦の二つの胸像 ○菊田道彦 (北海道医史学研究会),
島田保久 (元町整形外科), 長瀬 清 (長瀬内科医院)

3. 関場不二彦著『西医学東漸史話』について (第6報)

○秦 温信・松岡伸一・大西勝憲・関谷千尋・佐野文男 (札幌社会保険総合病院),
島田保久 (元町整形外科), 鮫島夏樹 (旭川医科大学)

4. 蝦夷地の医療 (II) ○島田保久 (元町整形外科),
片岡是充 (宮の森記念病院), 長瀬 清 (長瀬内科医院)

一般演題 II (16:00~16:40) 座長 猪爪信夫 (北海道薬科大学薬剂学分野教授)

1. 北海道薬科大学創設胎動期の新事実

——北海道理科大(薬学部) 予定校地の道薬科大への名義変更を示す謄本——

吉沢逸雄 (日本薬史学会, 北海道医史学研究会)

2. 北海道医薬品卸業の昭和後期から平成にかけての変遷

○根布谷ふみえ・小寺 一・金澤 勉・河野裕樹(はるにれ薬局),
齋藤元護(株式会社まるいち)

3. 新聞にみる北海道の売薬広告 1. 明治28年新年号

本間克明(株式会社北海道医薬総合研究所)

4. 「小樽秋野」ロシア領アレクサンドロフスク支店顛末

秋野治郎(株式会社ファーマホールディング)

閉会挨拶(16:40~)

北海道薬剤師会会長 東洋彰宏

○『北辰』第9号 平成20年2月1日発行

第70回理堂忌

平成20年11月8日 午後6時30分

札幌グランドホテル 白雲の間

詳細は『北辰』第9号参照

〒060-0042 札幌市中央区大通西六丁目 北海道医師会内
島田保久(北海道医史学研究会代表幹事)

平成20年度 新潟支部 活動報告

今年度は支部としての例会, 研究発表は行われなかった。支部事務局の所在は従来どおり, 日本歯科大学新潟生命歯学部医の博物館である。

平成20年度(2008年)中の支部会員の学会発表などは次の通りである。

①第109回日本医史学会総会発表

(一般講演)

「戴曼公唇舌図訣」の思想について

西巻明彦

明治34年(1901)の医師・薬剤師調査と工藤鉄男編「日本東京医事通覧」

樋口輝雄

②第21回日本歯科医学会総会発表

(ポスター発表)

古典文献からみる舌診の思想

西巻明彦

歯科免許第一号 小幡英之助の受験願書

——内閣文庫蔵「東京府史料・政治部衛生明治八年」より——

樋口輝雄

③第36回日本歯科医史学会総会発表

(一般講演)

新潟県内の従来家について

広瀬 秀

海を渡った舌診書

西巻明彦

エナメル線維の概念

西巻明彦

「方伎雑誌」にみる歯科的事項

西巻明彦

小林一茶の歯に関する発句の研究

西巻明彦

「鳥獣人物戯画」と「病草紙」

西巻明彦

占領期日本における歯科医学教育の改革

(第1報:GHQ/SCAP文書と先行研究について)

樋口輝雄

高山紀斎の渡航時期について

樋口輝雄

④会員の著作

整形外科の歴史(127)~(131) —— イギリス整形外科の近代化(24)~(28) 蒲原 宏

『整形外科看護』13巻1号~5号に連載

整形外科の歴史(132)~(138) —— イギリス連邦諸国整形外科の近代化(1)~(7) 蒲原 宏

『整形外科看護』13巻6号~12号に連載

明治4年「広運館, 医学校生徒入門書類」の生徒たち

長谷川一夫

『洋学史研究』第25号

Kolliker's concept of enamel

Nishimaki Akihiko

“Japanese Dental Science Review” Vol. 44

小林一茶の歯に関する発句の研究

西巻明彦

『日本歯科医史学会々誌』27巻4号

歴歯散策・花のお江戸の総合医科大学 —— 江戸医学館 ——

西巻明彦

“Dental Tribune” Vol. 4 No. 12

小幡英之助の受験書類について

樋口輝雄

『日本歯科医史学会々誌』27巻4号

⑤特記すべき事項について

佐倉市で開催された第109回日本医史学会総会で蒲原宏先生が名誉会員に推戴された。また2009年3月、会員の清水陽人先生が逝去された。

〒951-8580 新潟市中央区浜浦町1-8 日本歯科大学新潟生命歯学部 医の博物館内

日本医史学会新潟支部(樋口輝雄)

TEL: 025-267-1500 FAX: 025-267-1134

平成20年度 北陸支部(北陸医史学会) 活動報告

第30回北陸医史学会総会・例会を開催。

日時:平成20年7月13日 午前10時

会場:高岡市ウイング・ウイング5階

(1) 例会において発表された研究発表の演題名は下記の通り。

- | | |
|-------------------------|-------|
| 1. 高峰玄台の保健引札 | 寺畑喜朔 |
| 2. 高岡詩話にみる高岡医者 | 太田久夫 |
| 3. 田中信吾記「第二東遊記」 | 赤祖父一知 |
| 4. 石川県甲種医学校の教科書 | 板垣英治 |
| 5. 高岡医学同盟社について | 正橋剛二 |
| 6. 「戦時体制」と官制金沢医科大学(その1) | 筋 昭三 |
| 7. 源氏物語の病と死 | 白崎昭一郎 |

(2) 総会議事

1. 会務報告

①事務所移転 福井県医師会館から正橋会長宅へ。

②会員資格の再確認

2年以上会費納入のない場合には継続か退会かお問い合わせし、退会の場合は会費の精算をお願いしました。

③新入会員勧誘と会員の現況・4人の退会と17人の入会があり、総会日現在で会員数42人です。

④平成19年7月1日(金沢市)、金沢大学医学部記念館で第29回総会・例会を開催しました。

⑤20年2月に会誌通巻30号を発行しました。

2. 議案

①平成19年度北陸医史学会収支決算状況(別掲)

②平成20年度北陸医史学会予算案(別掲)

③北陸医史学会規約改正案

④北陸医史学会投稿規定改正案

上①②③④はいずれも原案通りで可決決定しました。

(新規約・新規定は会告欄に掲載)

⑤北陸医史学会創立30周年記念行事について。

30周年記念号を編集することに決定。尚特別に依頼原稿数篇と過去30年の会誌の総目次を収載して会員の便宜を図る。

⑥平成21年度(次回)総会・例会は福井県で開催する。

開催予定日:7月12日(日)

〒930-0137 富山市呉羽町2575 正橋剛二方

北陸医史学会(正橋剛二)

TEL: 076-436-0572 FAX: 076-436-2367

平成20年度 神奈川地方会 活動報告

平成20年度総会・第33回学術大会を開催。

日時:平成20年9月13日 午後1時30分総会開催

会場:岩崎学園ビル5階505号室

(1) 学術大会演題

1. 三才的病因論

家本誠一

2. 赤痢菌とペスト菌の耐性化の歩み

滝上 正

3. ハンセン病(Leprosy)の世界史

佐分利保雄

【記念講演】

アドルフ・マイヤーから学ぶこと

精神医学会理事長, 東京大学名誉教授 松下正明先生

(2) 総会内容

1. 平成19年度決算報告, 会計監査報告

2. 平成20年度会計中間報告

3. その他

幹事会を開催

(1) 報告内容

1. 神奈川医学会報告
2. 神奈川医師会助成金の報告
3. 医師会生涯教育講座について
4. 平成20年度決算報告
5. その他

(2) 協議事項

1. 第34回学術大会について
2. 次回幹事会について
3. 本会会費徴収について
4. 会員名簿について
5. ホームページ作成について
6. その他

〒240-0044 横浜市保土ヶ谷区仏向町 1625-1-2420
 神奈川地方会(滝上 正)
 TEL/FAX: 045-338-8785

平成20年度 東海支部 活動報告

1. 下記講演会の後援活動を行った。

伊藤圭介日記(第十四集)出版記念会(洋学史学会11月例会共催)
 平成20年11月16日 午後1時~4時(於・名古屋市東山植物園)

【記念講演】

伊藤圭介が珍藏した『洋学諸先生書翰』	幸田正孝
『泰西本草名疏』の植物学用語の原典	遠藤正治
伊藤俊夫氏寄贈の伊藤圭介の家族宛て書簡	横山 進
<i>Itoa</i> ——二人の「伊藤」にささげられた属名	岩津都希雄
賀来飛霞と小石川植物園	
——『明治十二年二月植物園暖室植物目録稿』を巡って——	坂崎信之
明治十年代のコレラ流行と対応	杉村啓治

〒470-1192 豊明市杣掛町田染ヶ窪町1番地98 藤田保健衛生大学
 日本医史学会東海支部(山内一信・高橋 昭)
 TEL: 0562-93-2693

平成20年度 関西支部 活動報告

○日本医史学会関西支部2008年秋季大会(20年度春季は開催なし)

平成20年10月12日(日) 於・京大会館

京都医学史研究会及びビューティサイエンス学会と三学会共催

【一般演題】

- | | |
|-------------------------------|---------------|
| 1. 英国医史——ヘルスサービス | 栗本宗治(大阪医大) |
| 2. 上田秋成から神医と称えられた播磨の眼科医谷川家 | 杉浦守邦(天津市) |
| 3. 中国佛教の戒疤と灸 | 猪飼祥夫(天津市) |
| 4. 「医は意なり」考 | 八木聖也(京都市) |
| 5. 比丘の食事 | 井上綾瀬(城陽市) |
| 6. 「ベルツの日記」に表れる病名についての考察 | 山上勝久(泉南市) |
| 7. 療養院の継承と忍性 | 亥口勝彦(大和郡山市) |
| 8. 原老柳肖像画保存と松本瑞 | 古西義磨(堺市) |
| 9. 医師という意味の外国語 | 泉彪之助(金沢市) |
| 10. 近年収集した医学絵葉書——病院関係 | 寺畑喜朔(高岡市) |
| 11. 金沢医学校の甲種合格前後における医学士の動静 | 赤祖父一知(金沢市) |
| 12. 京都の医家に入門した秋田県産業医門屋養安のことども | 奥澤康正(京都市) |
| 13. 鈴木元造宛書簡集 | 芝 哲夫(豊中市) |
| 14. 日本における人工水晶体の開発経過について | 園田真也(枕崎市) |
| 15. 大日本看護婦協会とR.B.トイスラーとの接点 | 上坂良子(秦野市) |
| | 山崎律子(福岡市) |
| 16. 蓼莪堂の吉雄元吉とその著作について | W・ミヒエル(九州大学) |
| 17. 「錦囊智術全書」——作者についての考察 | 高橋雅夫(東京都世田谷区) |

【紙上発表】

- | | |
|---------------------------|-------------|
| 石田昇「新撰精神病学」にみる狂の文字の消退について | 小曾戸明子(八王子市) |
| 田中彌性園収蔵 古医書のうち稀書(Ⅱ) | 田中祐尾(八尾市) |

【特別講演】

- 「儒医・茶人 有馬涼及について」 神戸女子大学教授(哲学) 白嵯顕成
司会 奥澤康正(敬称略)

以上、全口演の抄録は機関誌『醫譚』89号に記載します。

(平成21年5月1日発刊済で入手御希望は下記事務局まで)

なお第1席は演者奥方ご不例につき急遽欠席、第14席は演者自宅(枕崎市)よりリアルタイムにて映像と音声会場にメール送信されました。

- 支部機関誌『醫譚』87号 平成20年3月10日発行
 支部機関誌『醫譚』88号 平成20年10月20日発行
 支部機関誌『醫譚』復刻版 創刊号(昭和13年)より17号(同19年)まで合本全三巻として発行
 企画兼編集人 日本医史学会関西支部(杏林温故会)事務局 田中祐尾
 発行人 (株)思文閣出版 田中周二
 百部限定定価 25,200円(Tel: 075-751-1781)

上述機関誌の取次目次は関西支部メールアドレス(下記)をお開き下さい。

〒581-0003 八尾市本町5-1-7 田中医院内
 日本医史学会関西支部事務局(田中祐尾)
 TEL: 072-922-2028 FAX: 072-993-1237 HP: <http://mhkansai.umin.ne.jp/>

平成20年度 京都医学史研究会 活動報告

○機関紙『啓迪』第26号発刊

「医学天正記」について(九)

高島文一

問宮林蔵の死因

杉浦守邦

『増補手板発蒙』より冬虫夏草(昆虫病原菌を含む)・昆虫本草を探る

奥沢康正

近江婦人慈善会蒲生支会の看病婦養成(二)

八木聖弥

○第216回例会 平成19年10月12日 於・京都府医師会館(京都府医師会と共催)

「キノコと健康 付 新宮涼庭のこと」

大阪工業大学工学部環境工学科客員教授, 白砂青松再生の会会長, 新宮涼庭後裔

小川 眞先生

○第221回例会 平成20年10月12日 於・京大会館

(日本医史学会関西支部秋季大会・ビューティサイエンス学会と共催)

会員発表

「上田秋成から神医と称えられた播磨の眼科医 谷川家」

杉浦守邦

『『医は意なり』考』

八木聖弥

「京都の医家に入門した秋田県産業医 門屋養安のことども」

奥沢康正

○第222回例会 平成21年1月11日 於・ホテルフジタ京都

「中神琴溪の疑問 儒者たちとの関わり」

中神内科クリニック院長 中神源一先生

新年懇親会

○第223回例会 平成21年3月5日 於・京都府医師会館(京都府医師会と共催)

「災異・疫病と天神信仰 ——一条天皇朝を中心に——」

同志社大学文学部文化史学科教授 竹居明男先生

○医療文化史サロン協賛会「特設展示 医心方と源氏物語」

平成20年10月30日～11月3日 於・護王会館

主催 医療文化史サロン協賛会

後援 京都医学史研究会 他

○平成20年度ラッティ千本企画展「千本の眼医者」

平成21年2月16日～3月13日

主催 京都市

後援 京都医学史研究会・京都府眼科医会・社会福祉法人 京都ライトハウス

○その他

平成21年3月29日

府医師会を代表して京都医学史研究会五人が「盟親」の山脇東洋視臓記念碑に献花(建碑から33周年), ついで誓願寺墓地内山脇東洋夫妻の墓・山脇社中解剖供養碑に供花した。

〒604-8585 京都市中京区御前通松原下ル 京都府医師会館内
京都医学史研究会会長 中橋彌光

平成20年度 広島支部 活動報告

日本医史学会広島支部総会

日本医史学会広島支部・岡山医学史研究会 合同学術集会を開催

平成21年1月10日(土) 13時～ 於・広島大学病院カンファレンス2

(1) 合同学術集会において発表された研究発表の演題名は下記の通り。

1. 北清事変期の広島陸軍予備病院における医療と看護
広島国際大学 坂村八恵, 千田武志, 岡本裕子, 隅田 寛
2. 北清事変期における外国人傷病者の医療と看護
広島国際大学 岡本裕子, 隅田 寛, 坂村八恵, 千田武志
3. 岩国市芦山家に所蔵される「婦人臙図」について
広島大学 片岡勝子, 安嶋紀昭, 船田奇岑, 坂本扶美, 芦山辰朗
4. 京城帝大, 京城医専で学んだ三名の韓国・日本人の証言 中国労働衛生協会 石田純郎
5. 岡山県における保健所体制の変遷について 倉敷保健所 高木寛治
6. 適塾門下生 国府彰哉と横山謙斎 木村医院 木村 丹
7. 日本医療団の成立と解散 ——その今日的意義—— 中央診療所 泉 孝英

特別講演会

ルネッサンス期の画家と医学の源流 広島市現代美術館館長(元広島大学長) 原田康夫

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 広島大学医学部医学資料館内
日本医史学会広島支部(片岡勝子)

平成20年度 福岡地方会 活動報告

福岡地方会開催

平成21年2月14日(土) 14時15分～ 於・都久志会館602号室

【一般演題】

1. 日本最初の医学全集“医心方”と半井家 原 敬二郎
2. 高松凌雲が学んだパリのオテル・ディウ再訪 小林 晶
3. 石龍子と相学提要
——筑後久留米藩で最初に解剖をした医師 酒井義篤が病相を担当執筆—— 中山茂春
4. 「傷寒雑病論」と「孫子」
——経験重視の江南文化圏が生んだ二大古典—— 権藤寿昭
5. 黒田藩のシーボルトの弟子たち 木村専太郎

【特別講演】

中濱万次郎から学ぶもの、及び子孫の医学史との関わり

原土井病院 健康増進部 健診センター, 福岡大学名誉教授 今永一成

〒815-0042 福岡市南区若久 1-28-5

日本医史学会福岡地方会(原クリニック 原 敬二郎)

TEL: 092-557-2575 FAX: 092-557-2635

雑報**寄贈本リスト****【単行本】**

中村光夫『山梨の疱瘡神・Ⅱ』2008

青木歳幸, 野口朋隆, 田久保佳寛『「小城藩日記」にみる近世佐賀医学・洋学資料(全編)』2009

中村光夫『山梨の疱瘡神・Ⅲ』2009

中村光夫『長野の疱瘡神』2009

堀田慎一郎『名古屋大学 歴代総長略伝』2009

名古屋大学資料室『名古屋大学 大学文書資料室紀要』2009

社団法人分県歯科医師会, 社団法人中津歯科医師会『小幡英之助先生, 没後100年, 顕彰 歯科祭記念誌』2009

W. ミヒェル, 鳥井裕美子, 川島真人『九州の蘭学』2009

医学中央雑誌刊行会『医学中央雑誌 取載誌目録』2009

W. ミヒェル他 中津市教育委員会『資料と人物Ⅱ』2009

坂井建雄『人体観の歴史』「岩波書店」2008

京都大学医学部病理学教室百年史刊行会『京都大学医学部病理学教室百年史』2008

東洋学園大学『東洋学園八十年の歩み』2007

【別刷】

『シンポジウム「森林太郎と森鷗外」岡田靖雄「森鷗外記念会通信」(165)

『谷川流眼科の系譜』杉浦守邦「醫譚」(89)

『書簡から見る上田秋成の眼病の経過』杉浦守邦「啓迪」(27)

『奈良時代の精神医学(精神医学の萌芽)』鈴木英鷹「精神医学」51(2)

【雑誌】

『あいまっく』29(4), 30(1-3) 国際医学情報センター

『Capsule』(86) 日本製薬工業協会広報委員会

『Chinese Medical Journal』121(8-24), 122(1-13) Chinese Medical Association

『千葉県立中央博物館研究報告 人文科学』11(1) 千葉県立中央博物館

『福井県医師会だより』(558-580) 福井県医師会

『いわちどり(小笠医師会誌)』(36) 小笠医師会

『医道の日本』67(11-12), 68(1-10) 医道の日本社

『漢方の臨床』55(10-12), 56(1-10) 東亜医学協会

『神奈川県医学会雑誌』36(1) 神奈川県医師会

『鳴滝紀要』(19) シーボルト記念館

『日本医師会雑誌』137(7-12), 138(1-6) 日本医師会

『日本獣医史学雑誌』(46) 日本獣医史学会

『ねりま(練馬区医師会雑誌)』15 練馬区医師会

『だより(練馬区医師会)』(487-499) 練馬区医師会

『労働科学』84(3-4), 85(1-3) 労働科学研究所

『STETHOSCOPE』(193-196) 日本医学切手の会会報

- 『東医学研究』(129-131) 東医学研究会
『愍斎研究会だより』(118-119) 愍斎研究会
『漢方と鍼』33(1-5) 北里研究所東洋医学総合研究所だより
『Medical Postgraduate』46(4), 47(1-4) 医学書房
『斯文会々報』60-62 斯文会
『Journal of Anesthesia』22(4), 23(1) Japan Society of Anesthesiologists
『Chinese Journal of Medical History』39(1-2) Chinese Medical Association
『JMAJ』51(4-6), 5(1-3) Japan Medical Association
『醫譚』88, 89 日本医史学会関西支部